

OPS ユーザーマニュアル

オープンプラグガブル仕
様

バージョン

1.1

目次

パッケージ内容確認リスト	1
製品仕様。	1
安全上の注意。	2
外観図.....	3
I/Oインターフェースの説明.....	3
製品寸法図.....	4
設置方法。	5
構成方法。	7
使用方法。	13
OPSコンピュータの一般的な不具合とそのトラブルシューティングの手 順および解決策。	14
RoHS 2.0 準拠の宣言	18
注記。	19
警告.....	19

パッケージ内容確認リスト

弊社製品をお選びいただき、誠にありがとうございます。製品をご使用になる前に、梱包内容に不備がないかご確認ください。破損や不足がある場合は、できるだけ早く販売代理店にご連絡ください。

- ★ 本体 × 1
- ★ 取扱説明書 × 1
- ★ Wi-Fiアンテナ × 2

製品「 」の仕様

プロセッサ	- Intel® Raptor Lake-H、I5-13420H/I7-13620H
メモリ	- SO-DIMM DDR4 2666/3200MHz
ストレージ	- M.2 2280 NVMe/SATA × 1、M.2 2280 NVMe × 1
ディスプレイコントローラー	- Intel® HD Graphics
オーディオ	- Realtek オーディオ IC、ALC897
ネットワーク	- Realtek イーサネットコントローラ
ディスプレイインターフェース	- HDMI 1.4、DP 1.2、HDMI 2.0 (80ピン)
Wi-Fi/Bluetooth	- AW-CB515NF/AW-XB547NF
USB	- USB 2.0 × 2 - USB 3.0 × 4 - Type-C USB 2.0 × 1
JAE 80ピン	- USB 3.0 × 1 (USB 2.0 非対応)、USB 2.0 × 3
電源	- 19Vdc、4.74A
サイズ	- 195 × 180 × 30 mm
OS	- Windows 11
重量	- 正味重量：0.9kg；総重量：1.2kg

安全上の注意事項

OPSコンピュータを安全かつ効果的にご使用いただくため、ご使用前に以下の内容をよくお読みください：

- 感電や製品の破損を防ぐため、AC電源に接続する機器（プラグアンドプレイ非対応）を接続する前に、AC電源のスイッチを切ってください。
- 温度が高すぎたり低すぎたりする環境での本製品の使用は避けてください（動作温度：0～50℃；湿度：10～90 %RH；保管温度：-10～50℃）の環境での使用は避けてください。
- OPSコンピュータ内部に液体が滴り落ちて焼損を引き起こすのを防ぐため、濡れた布でOPSコンピュータを拭かないでください。
- 頻繁な電源のオン/オフによる製品の不必要な損傷を防ぐため、電源を入れる前に少なくとも 30 秒間待ってください。
- 機器の故障や損傷を防ぐため、本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 本製品を自分で分解しないでください。安全上の理由から、本製品が故障した場合は、資格のある専門家に修理を依頼してください。
- 不適切なタイプのバッテリーと交換すると、安全装置が機能しなくなるおそれがあります。
- 電池を火の中や高温のオープンに投げ込んだり、機械的に押しつぶしたり切断したりすると、爆発を引き起こすおそれがあります。
- バッテリーを極端に高温の環境に放置すると、爆発や可燃性の液体・ガスの漏出を引き起こすおそれがあります。
- 極端に低い気圧にさらされたバッテリーは、爆発や可燃性の液体・ガスの漏出を引き起こすおそれがあります。
- 本機器は、海拔 5000m までの最大高度での使用が規定されています。

外観 図面



I/O インターフェースの説明

WIFI-1/2：WIFI アンテナインターフェース

電源ボタン：電源ボタンを押すと、本機の電源が入ります。

LED：（中央）電源 LED、（下部）ハードドライブ

LED LINE-OUT：このジャックは、オーディオシステムの前面左右チャンネルスピーカーに接続するために使用します

MIC-IN：このジャックは、外部マイクを接続するために使用します。

Type-C：USB 2.0 Type-C コネクタ

HDMI：高解像度マルチメディアディスプレイインターフェース

DP：DPディスプレイインターフェース

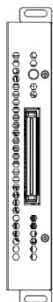
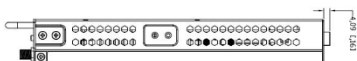
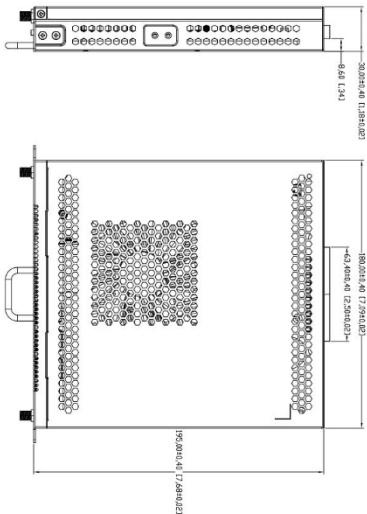
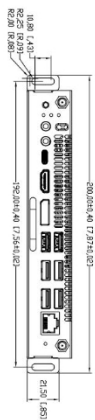
USB2.0：USB2.0 コネクタ、USB 1.1 との下位互換性あり
USB3.0：USB3.0 コネクタ、USB 2.0/1.1 との下位互換性あり
LAN：RJ-45 ネットワークコネクタ

R：リセットキーを押すと、オペレーティングシステムの復元インターフェースに入ります

JA E 80PIN：80 ピン拡張ポート

DC IN：電源インターフェース

製品寸法 図面

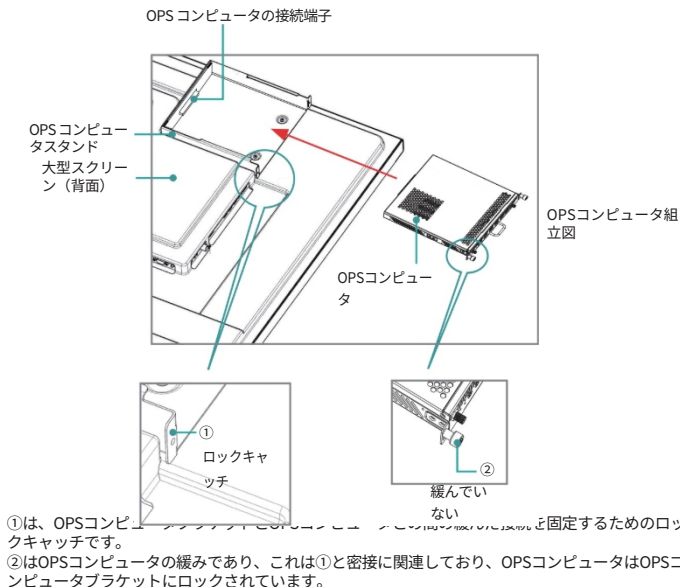


設置 方法

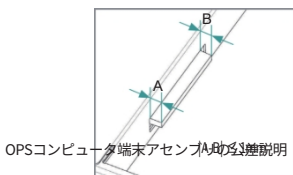
設置手順：

1. 大画面が「オフ」状態の場合、インジケータランプは消灯します。
2. 作業者は静電気防止用手袋を着用し、OPSコンピュータを取り出してください。
3. OPSコンピュータ組立手順：[注] 大型スクリーンのモデルやOPSコンピュータ用ブラケットの形状は

(1). 大型スクリーンはOPSコンピュータのインターフェースと互換性があり、組み立て手順は以下の通りです：[注] 大型スクリーンやOPSコンピュータブラケットの形状はモデルによって異なりますが、組み立て方法は同じです。

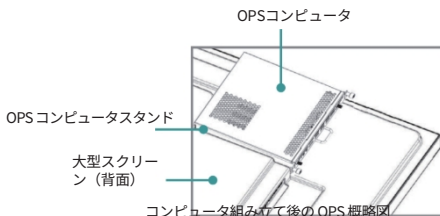


OPSコンピュータを組み立てる前に、以下の図に示す要件を満たすよう、OPSコンピュータのプラグイン端子の構成を確認してください：



(2). 組み立て手順 説明：a. 大画面を直立または横向き（LCD が地面側を向くように）に安定して設置し、大画面の背面にある OPS コンピュータブラケットの周囲に十分な操作スペースを確保してください。b. 図に示す経路に沿って、OPS コンピュータを OPS コンピュータブラケットに挿入し、②と①がしっかりと固定されるまで押し込みます。c. ネジ付きの OPS コンピュータモデルを使用し、締め付けトルクは $0.5 \text{ N} \cdot \text{m} \leq M \leq 0.8 \text{ N} \cdot \text{m}$ にしてください。

(3). 組み立て後の様子は以下の通りです。



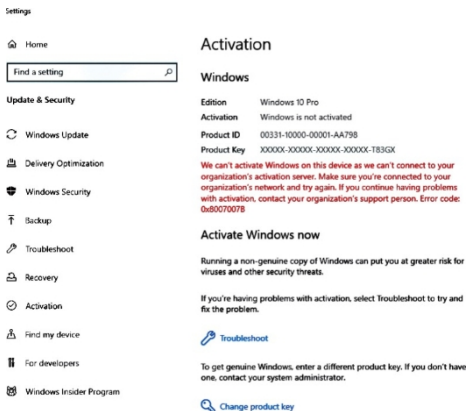
(4). 組み立て後の注意事項：a. OPSコンピュータを取り付けた後、しっかりと固定されている状態（左右が同じ状態）であることを確認してください。b. ネジがしっかりと締まっており、緩んでいないことを確認してください。OPSコンピュータが揺れないようにしてください。

設定 方法

大画面で OPS ウィンドウを開く、サードパーティ製アプリケーション インストール手順が完了したら、大画面で AC システムを起動し、大画面ホームページの右下隅にある [設定] > [詳細設定] > [OPS ウィンドウのサードパーティ製アプリケーションの権限] をクリックして、OPS 大画面で OPS ウィンドウのサードパーティ製アプリケーションを開きます。

OPS Windows を有効にする方法 OPS Windows を有効にする方法

- 1 通常、ネットワークが起動すると、OPS ウィンドウは自動的に有効になります。
- 2 ネットワークの異常やネットワークの検証により OPS Windows がアクティベーションされていない場合は、ネットワーク接続が可能な状態で「スタート」>「設定」>「更新とセキュリティ」>「アクティベーション」をクリックする必要があります。
- 3 OPS Windows のアクティベーション処理中に「このデバイスでは Windows をアクティベートできません」というメッセージが表示された場合は、ネットワーク接続が可能な状態で「トラブルシューティング」をクリックし、再度アクティベーションを試みてください。オペレーティングシステムは、事前に入力されたキーに基づいて自動的にアクティベーションを識別します。



OPSコンピュータによる内蔵カメラ、マイク、ソフトキーボードの呼び出し大画面のホーム画面で、左下隅にあるOPSコンピュータのアイコンをクリックして、OPS Windowsページに入ります：

1. OPS Windows システム上のサードパーティ製アプリケーションは、大画面端末の内蔵カメラおよびマイクを利用できます。

2. ソフトキーボードを呼び出すには：Windowsの設定>デバイス>入力>タッチキーボードをクリックし、タブレットモードではなく、キーボードが接続されていない場合にタッチキーボードを有効にします。

OPSコンピュータ ネットワーク 設定設定ウィザードに従って設定を完了してください。

ネットワーク設定については以下の通りです：

1. 有線ネットワーク環境において、OPSコンピュータと大型ディスプレイが同一の

、OPSコンピュータはネットワークケーブルを接続しなくても、大画面の有線ネットワークを直接利用できます。OPSコンピュータと大画面が異なるネットワークに属している場合は、OPSコンピュータを別のネットワークケーブルで接続する必要があります。

2. 無線ネットワーク環境では、OPSコンピュータと大型画面の無線ネットワークを共有することはできません。無線アクセスを使用する場合は、大型画面とOPSコンピュータの無線ネットワークをそれぞれ設定してください。

OPSコンピュータの有線ネットワーク設定方法は以下の通りです：

・ OPSコンピュータと大型スクリーンが有線ネットワークを共有している場合；

・ OPSコンピュータと大型画面が異なるネットワークに属している場合。

(1). OPSコンピュータと大型スクリーンが有線ネットワークを共有する場合：OPSコンピュータにネットワークケーブルを接続する必要はなく、大型スクリーンのネットワークにアクセスするためのネットワークパラメータを設定するだけで済みます。

・ ネットワークにDHCPサーバーが設定されている場合、OPSコンピュータは大型スクリーンに接続すると自動的に動的IPアドレスを取得するため、その他の設定は不要です。

・ ネットワークにDHCPサーバーが設定されていない場合は、opswanネットワークカードの静的IPアドレスとデフォルトゲートウェイアドレスを手動で設定する必要があります。ネットワークにDNSサーバーが導入されている場合は、DNSサーバーのアドレスを設定してください。

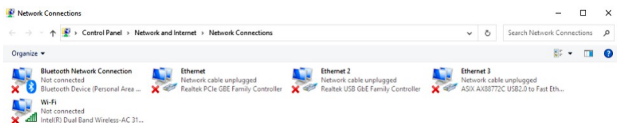
[説明]

・OPSコンピュータには、OPSコンピュータ自身のネットワークカード、ops-wanネットワークカード、ops-androidネットワークカードの3つのネットワークカードがあります。OPSコンピュータの標準ネットワークカードのタイプはPCIeネットワークカードであり、ops-wanおよびops-androidネットワークカードのタイプはUSBネットワークカードです。大画面のネットワークケーブルを抜き差しすることで、それがops-wanネットワークカードであるかどうかを判別できます。ネットワークケーブルを抜いた際に、ネットワークカードに「ネットワークケーブルが抜かれました」と表示される場合、そのネットワークカードはops-wanネットワークカードです。

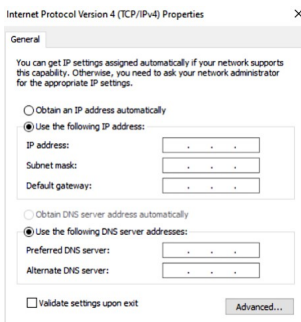
ops-android ネットワークカードのステータスは、大画面用ネットワークケーブルの抜き差しによる影響を受けません。

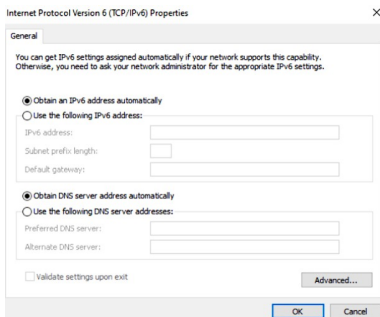
手順1：OPS コンピュータにログインし、メニューの右下にある [] をクリックしてネットワーク設定を開きます。

手順2：「ネットワークとインターネット」をクリックして設定ページを開き、「ネットワークとインターネット>アダプターのオプションの変更」を選択します。



手順3：ネットワーク接続ウィンドウで、ops-wan ネットワークカードのアイコンを長押しし、「ステータス」を選択して、「プロパティ>ネットワーク>インターネットプロトコルバージョン (TCP/IPv4)」または「プロパティ>ネットワーク>インターネットプロトコルバージョン 6 (TCP/IPv6)」をクリックし、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを手動で設定します。DNS は実際のネットワーク環境に応じて設定します。





手順4：「OK」をクリックします。

手順5：ネットワークの状態を確認します。CMD コマンドを使用して、設定した IP アドレスに Ping を実行し、応答があるかどうかを確認します。

—以上

ネットワーク設定が完了すると、OPSコンピュータから大画面のWebインターフェースに正常にアクセスできるようになります。

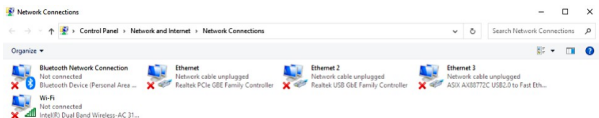
注：複数のネットワークが同じゲートウェイで設定されている場合、Microsoft TCP/IP の警告が表示されますが、通常の使用には影響ありません。

「はい」をクリックします。

(2). OPS コンピュータと大型スクリーンが異なるネットワークに属している場合：OPS コンピュータには個別にネットワークケーブルを接続し、ネットワークパラメータを設定する必要があります。

- ・ネットワークに DHCP サーバーが設定されている場合、OPS コンピュータはネットワークケーブルを接続すると自動的に動的 IP アドレスを取得するため、その他の設定は必要ありません。

- ・ネットワークに DHCP サーバーが設定されていない場合は、OPS コンピュータの PCIe ネットワークカードの静的 IP アドレスとデフォルトゲートウェイアドレスを手動で設定してください。ネットワークに DNS サーバーが導入されている場合は、DNS サーバーのアドレスを設定してください。

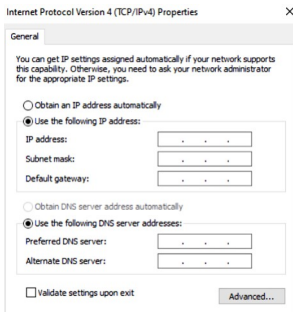


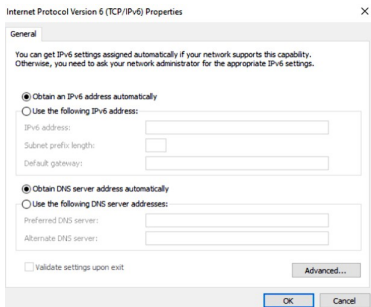
手順1：OPS コンピュータのネットワークポートにネットワークケーブルを差し込みます。

ステップ2：OPS コンピュータにログインし、メニューの右下隅にある [] をクリックして、ネットワーク設定を開きます。

ステップ3：「ネットワークとインターネット」をクリックして設定ページを開き、「ネットワークとインターネット>アダプタの変更」オプションを選択します。

手順4：ネットワーク接続ウィンドウで、OPS コンピュータのネットワークカードのアイコンを長押しし、「ステータス」を選択して、「プロパティ>ネットワーク>インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)」または「プロパティ>ネットワーク>インターネットプロトコルバージョン6 (TCP/IPv6)」をクリックし、実際のネットワーク環境に合わせて IP アドレス、サブネットマスク/サブネットプレフィックス長、デフォルトゲートウェイ、および DNS を手動で設定します。





手順5：「OK」をクリックします。

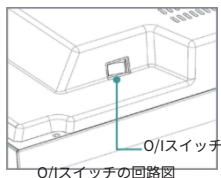
---終わり

の使用方法

OPS の電源オン/オフ

1 電源 オン：O/I スwitchを押すと、大画面の AC 電源が入り、OPS コンピュータも起動します。

2 電源 オフ：(1). AC電源をシャットダウンしません。つまり、OPSコンピュータが起動している状態で「O/I」スwitchを使用してシャットダウンすることは禁止されています。



(2). OPSコンピュータが起動していない、または動作していない場合は、「O/I」スswitchを使用してコンピュータをシャットダウンできます。それ以外の場合は、以下の方法でシャットダウンを行ってください。

シャットダウンモード：OPSコンピュータのオペレーティングシステム上で、通常通りOPSコンピュータをシャットダウンし、OPSコンピュータのインジケータランプが消灯してから、「O/I」スswitchを使用してシャットダウン操作を行ってください。

OPSコンピュータの使用

1 OPSコンピュータは、大画面ホストの背面に設置されています（OPSコンピュータの取り付けまたは取り外しを行う際は、大画面の電源がオフになっていることを確認してください。そうしないと、OPSコンピュータが異常動作する可能性があります）。

2 大画面ページの左下隅にあるOPSコンピュータのアイコンをクリックして、OPSコンピュータに入ります。

OPS コンピュータの取り外し

1 ホットスワップは禁止されています。OPS コンピュータが動作中、またはモニターの電源が入っている場合は、プラグイン端子から OPS コンピュータを直接引き抜くことは禁止されています。

2 大画面ディスプレイとOPSコンピュータの両方が起動または動作していないこと（大画面ディスプレイのフロントパネルにあるすべてのインジケータランプが消灯していること）を確認してから、OPSコンピュータをプラグイン端子から引き抜くことができます。

OPSコンピュータのレベルを保つよう注意し、明らかな上下のぐらつきや引き抜きを防ぐようにしてください。

OPSコンピュータの一般的な不具合とそのトラブルシューティング手順、およびの解決策

一般的な不具合	トラブルシューティングの手順	解決策
電源が入らない	①：大画面ディスプレイの電源インジケータを確認する ②：電源コードとOPSコンピュータ機器の接続を確認し、差し込みが不十分、接触不良、過電流または過電圧保護が作動していないかを確認します ③：OPSコンピュータを取り外し、外観を確認するとともに、衝突などによる物理的な損傷がないか確認してください	①：リセットキーを5秒間押し、CMOSをクリアしてください ②：電源投入時にアラーム音が鳴る場合は、メモリを再挿入するか、メモリを交換してください
表示されない	①：外部HDMI (VGA) ディスプレイに映像が表示されていますか ②：システム上でディスプレイが表示されない場合は、ディスプレイの解像度がサポートされているか、およびシステム上のディスプレイドライバに異常がないかを確認してください	①：リセットキーを5秒間押し、CMOSをクリアしてください ②：修理センターへ送付
ブザーアラーム	①：CMOSをクリアする ②：メモリの接続が緩んでいないか、または不良になっていないかを確認してください ③：モニターが正しく接続されているか確認する	①：リセットキーを5秒間押し続けてCMOSをクリアする ②：メモリを再度差し込んでください ③：修理に出す
システムにアクセスできません。システムがクラッシュしました	①：CMOSをクリアすると、BIOSは正常に動作します ②：システムにウイルスがないか確認する ③：ディスク容量を確認する ④：メモリ使用状況の確認 ⑤：システムディスクの交換テスト	①：リセットキーを5秒間押し続けてCMOSをクリアする ②：コンピュータにウイルス検出ソフトおよびウイルス対策ソフトをインストールする ③：ディスクの空き容量を確保する。デスクトップ上のソフトウェアは少ないほど良い ④：ワンクリックでシステムを復元するには、正常な状態のシステムをバックアップし、ワンクリック復元ツールを使用して復元します

よくある不具合	トラブルシューティングの手順	解決策
コンピュータがモニターの最高解像度に対応していない	①：サポートされているディスプレイ解像度の最大値を確認する ②：ディスプレイの電源スイッチがオンになっていることを確認した後、配線に問題がないか確認する ③：ドライブが正常に装着されているか確認する ④：CMOSをクリアし、BIOSを更新する	①：リセットキーを5秒間押し続けて、CMOSをクリアし、BIOSを更新してください ②：ビデオカードのメモリを確認する ③：ドライバが正しくインストールまたは更新されているか確認してください
全体 ホストの動作を観 クラッシュやフリー ギーを押し、 使用中に	①：CMOSのクリア ②：電源の 設定は 要件に準拠しており、 ③：外部テスト機器のプラグを抜く 機器の ④：トラブルシューティングソフトウ 問題 ⑤：システムの復元	①：ホストの動作を確認する 環境 ②：リセットボタンを押し、 5秒間、CMOSをクリアするために ③：外部のテスト機器のプラグを抜く アップグレードソフトウェアを使用し コンピュータをシャットダウンする ④：トラブルシューティングソフトウ 問題、ソフトウェア 互換性の問題、またはインストール ソフトウェアのインストール過多 ⑤：ワンクリックでシステムを復元
その後 起動後、 システムが 起動できません を通じて ツール	①：CMOSのクリア ②：起動ツールの動作を確認し ③：システムを復元する	①：リセットボタンを押して 5秒間、CMOSをクリアするために ②：以下の方法でシステムを復元する ワンクリックで
不良USB、なし タッチ	①：CMOSのクリア ②：システムを復元する ③：USBのトラブルシューティング デバイス自体に	①：リセットボタンを押して 5秒間、CMOSをクリアするために ②： USBドライバは正常ですが、 システム上で無効化されています。 リソース 管理やソフトウェア ツールから確認でき、 異常がある場合は ③：ワンクリックで ワンクリックで

よくある不具合	トラブルシューティングの手順	解決策
システムの復元ができない、サードパーティ製ソフトウェアをインストールできない	①：CMOSをクリアする ②：サードパーティ製ソフトウェアに異常がないか確認する ③：システム設定に異常がないか確認する ④：システムの復元	①：リセットキーを5秒間押し続けて、CMOSをクリアする ②：サードパーティ製ソフトウェアを別のコンピュータにインストールし、正常に動作するか確認する ③：ワンクリックでシステムを復元する
ネットワーク接続不良、Wi-Fiの接続状態が悪い	①：交換法を用いて、ネットワークの問題かコンピュータの問題かを特定する ②：ソフトウェアの問題が影響しているかどうかを特定し、ネットワークICがシステムに干渉していないかを確認する ③：システムを復元する	①：正常に動作するコンピュータを使用して、ネットワークケーブルが正しく接続されているかを確認する ②：ネットワーク回線の接触不良やプラグの緩みがないか確認する ③：デバイスマネジメント：ネットワークハードウェアが認識されているか、システムによって無効化されていないか、ネットワーク設定が正常か、ネットワークIDが正常かを確認する ④：ワイヤレスネットワークカードドライバおよびオンボードネットワークカードドライバが正常にインストールされているかを確認する
システムのブルースクリーンが表示される	①：CMOSをクリアする ②：インストールされたシステムのソースのセキュリティを確認する。公式サイトの画像または信頼できるウェブサイトからダウンロードされたものか、また簡体字版ではないかを確認する ③：同じプラットフォームのシステムディスクに交換する	①：リセットキーを5秒間押し続けて、CMOSをクリアする ②：ソフトウェアのインストール競合が原因である可能性があるため、コンピュータ上のソフトウェアをアンインストールしてください ③：外部デバイスを外して、ブルースクリーンが発生するかどうかを確認してください ④：ワンクリックでシステムを復元する

よくある不具合	トラブルシューティングの手順	解決策
音質が悪い 効果	①：CMOSをクリアする ②：システムディスクを交換し 同じプラットフォームの ③：コネクタの確認 ④：システムの復元	①：リセットボタンを 5秒間、リセットボタンを押してCMOS ②：外部の交換テスト 機器の音声出力確認 ③：システムで音が出ない場合 、 サウンドカードのドライバ（ドライバ ドライバパッケージがない場合は、 ドライバライフ - ドライバの更新 - サウンドとビデオ - 更新の開始 更新 - 自動的に 公式ドライバを自動検出 - コンピュ コンピュータを再起動 ④：デバイスを数回 回挿入・取り外しを行うか、デバイス 接触不良を回避する

RoHS2.0 準拠に関する宣言 大型スクリーンシリーズ OPS は、電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する欧州議会および理事会指令 (EU)2015/863 に準拠して設計・製造されています。

電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS2.0指令) に準拠して設計・製造されており

(RoHS2.0指令) に準拠して設計・製造されており、以下に示す欧州技術適応委員会 (TAC) が定めた最大濃度値を遵守しているとみなされます：

物質	提案された 最大 濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	<0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	<0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	<0.01%
六価クロム (Cr6+)	0.1%	<0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	<0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	<0.1%
フタル酸ジエチルヘキシル (DEHP)	0.1%	<0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	<0.1%
ブチルベンジルフタレート (BBP)	0.1%	<0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	<0.1%

**上記の製品の特定の構成部品は、以下に示す通り、RoHS2指令の附属書IIIに基づき適用除外となります。適用除外となる構成部品の例は以下の通りです：

1. 重量比で最大4%の鉛を含む銅合金。
2. 高融点型はんだに含まれる鉛（すなわち、重量比で85%以上の鉛を含む鉛系合金）。
3. コンデンサの誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックに含まれる鉛、例えば圧電素子、あるいはガラスまたはセラミックマトリックス化合物に含まれる鉛を有する電気・電子部品。

注：

アクセサリーは、モデルや国・地域によって上記の一覧と異なる場合がありますので、実際のアクセサリー袋をご確認ください。

EU適合宣言（簡略版）

ここに、杭州Hikvisionデジタルテクノロジー株式会社は、本無線機器が指令2014/53/EUに準拠していることを宣言します。EU適合宣言の全文は、以下のインターネットアドレスからご覧いただけます：
<https://www.hikvision.com/en/>

警告：

本機器は、カナダ産業省（Industry Canada）の免許不要RSS規格に準拠しています。本機器の運用は、以下の2つの条件に従うものとします：(1) 本機器は干渉を引き起こしてはならず、(2) 本機器は、本機器の意図しない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

本機器は、免許不要の無線機器に適用されるカナダ産業省（Industry Canada）のCNRに準拠しています。本機器の使用は、以下の2つの条件の下で許可されています：(1) 本機器は干渉を引き起こしてはならず、(2) 本機器のユーザーは、たとえその干渉によって本機器の動作に支障をきたす可能性がある場合でも、受けるあらゆる無線干渉を受け入れなければなりません。